

ヒヤリハット状況把握と 注意喚起、その効果について

株式会社あおい調剤

○中村安宏、則久幸司、小澤大祐、鈴木智彦
恩地玄、渡邊範久、藤本一夫、黒田亮顕
有田明弘、加藤謙



株式会社あおい調剤

あおい調剤グループ

【目的】

ヒヤリハット、及び調剤過誤の内訳に特徴的な傾向が見られる剤型について、その特徴に標的を絞った注意喚起を行うことでヒヤリハット、及び調剤過誤を減らすことが出来るのかを検証する。

【方法①】

2018年8月～2019年8月のヒヤリハット（2878件）、及び2014年6月～2019年8月の調剤過誤（361件）を剤型別に集計し、その内訳に特徴的な傾向が見られるか分析した。

《剤型の分類》

錠剤、湿布、散剤・液剤、軟膏、点眼・点鼻、吸入、一包化

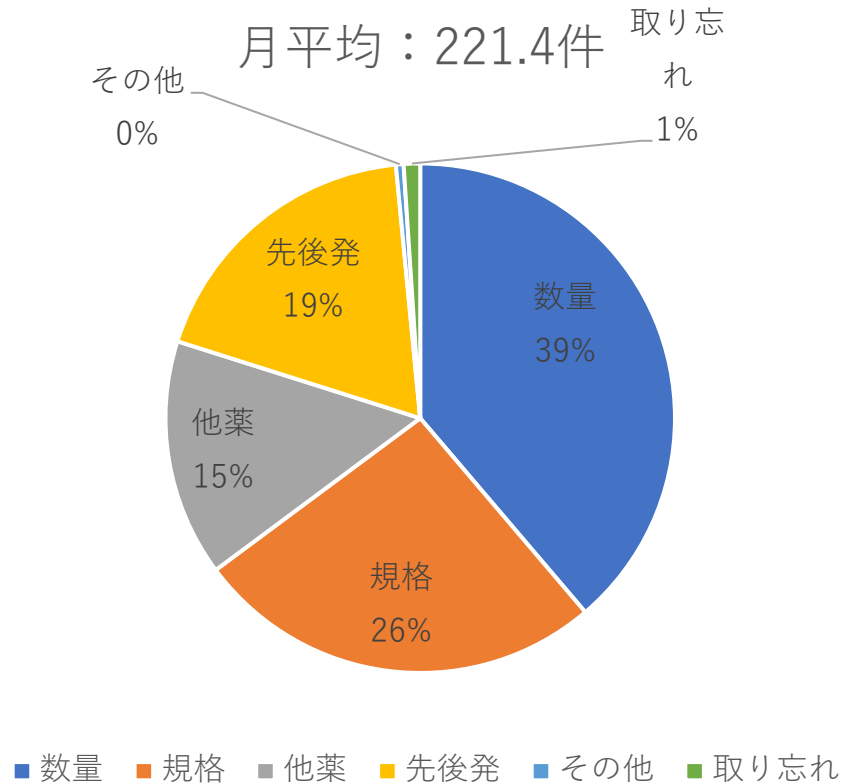
〔ヒヤリハット、及び調剤過誤の分類〕

数量、規格、他薬、先発・後発、取り忘れ、その他

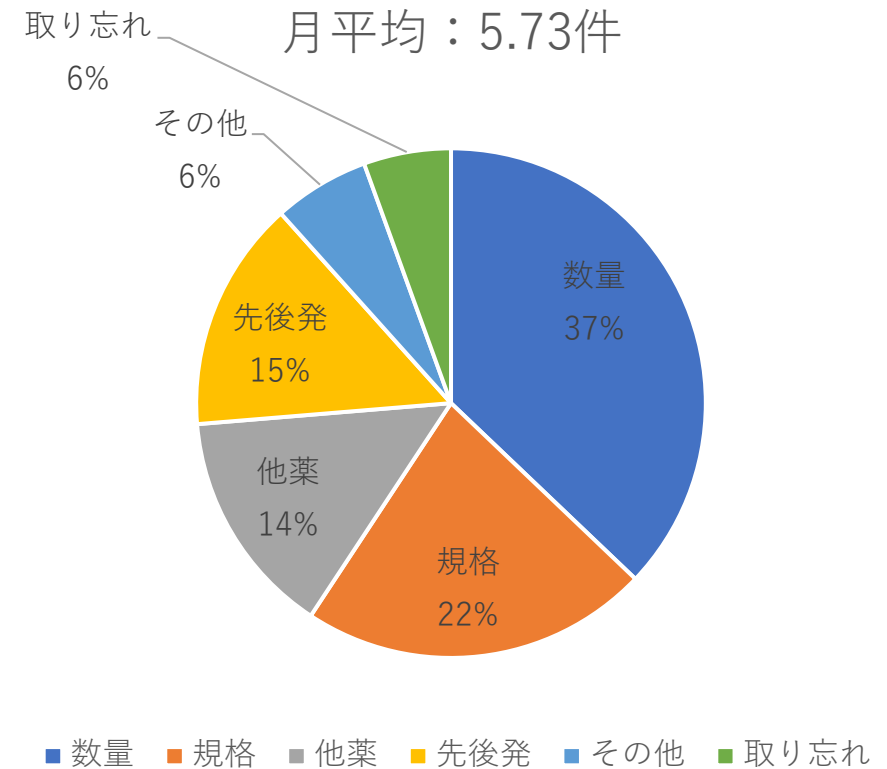
全剤型

(錠剤、湿布、散剤・液剤、軟膏、点眼・点鼻、吸入、一包化)

ヒヤリハット



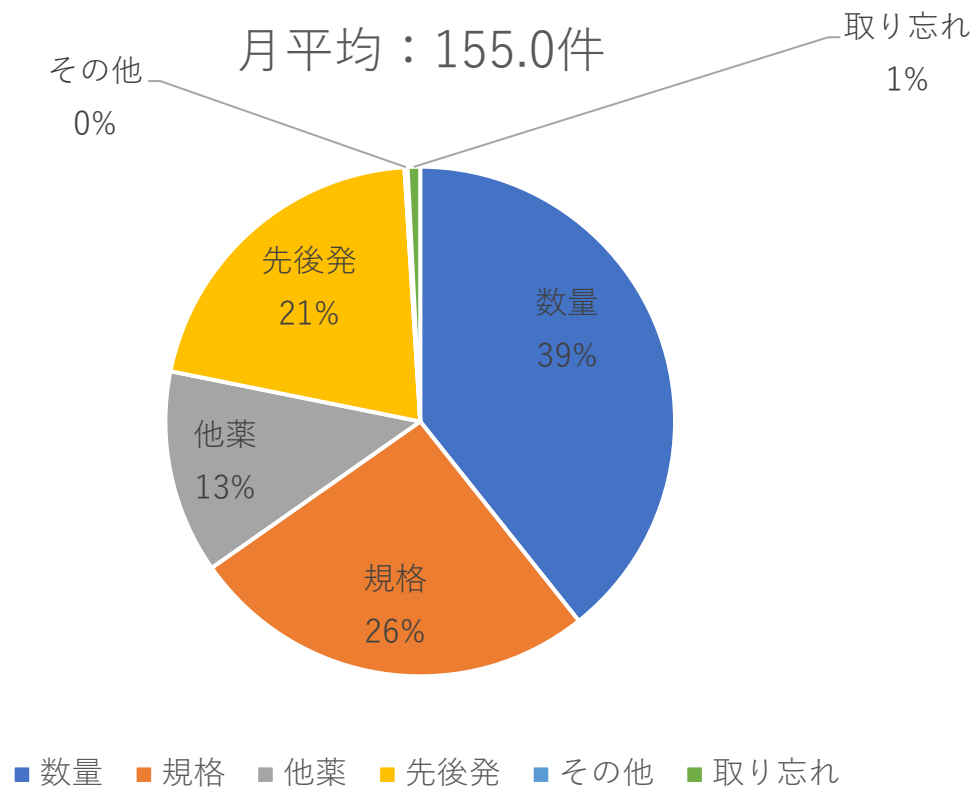
調剤過誤



規格間違い、先発・後発間違いは監査で発見されやすく、
取り忘れは監査で見過ごされやすい

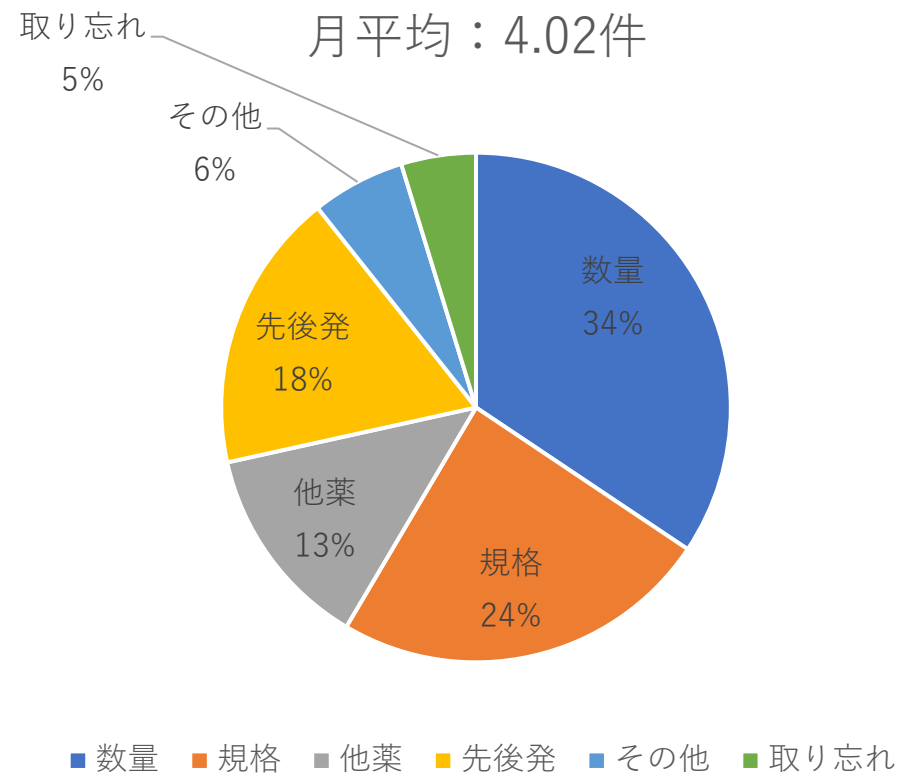
錠剤

ヒヤリハット



全剤型の特徴とほぼ同様

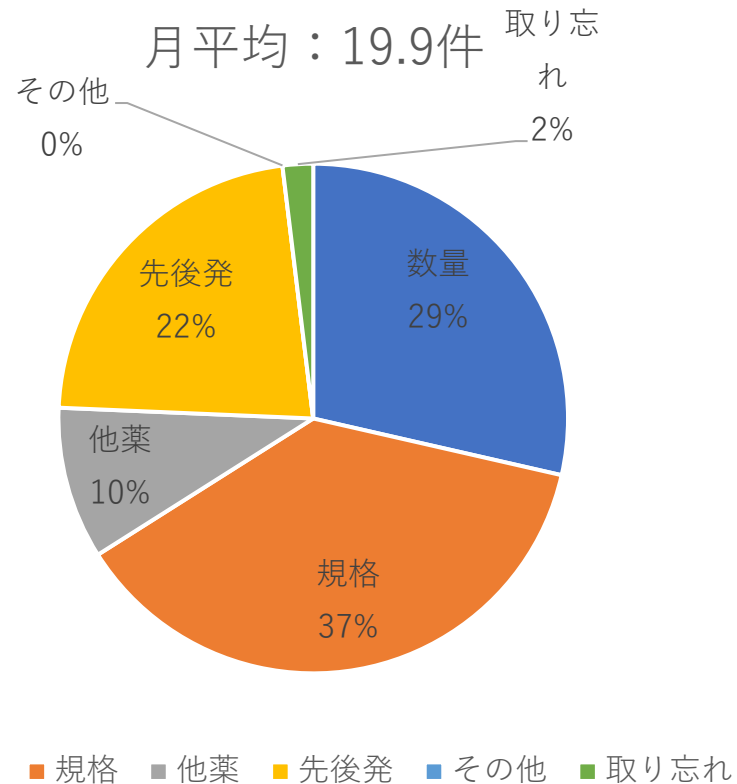
調剤過誤



全剤型と同様に取り忘れが見過ごされやすい

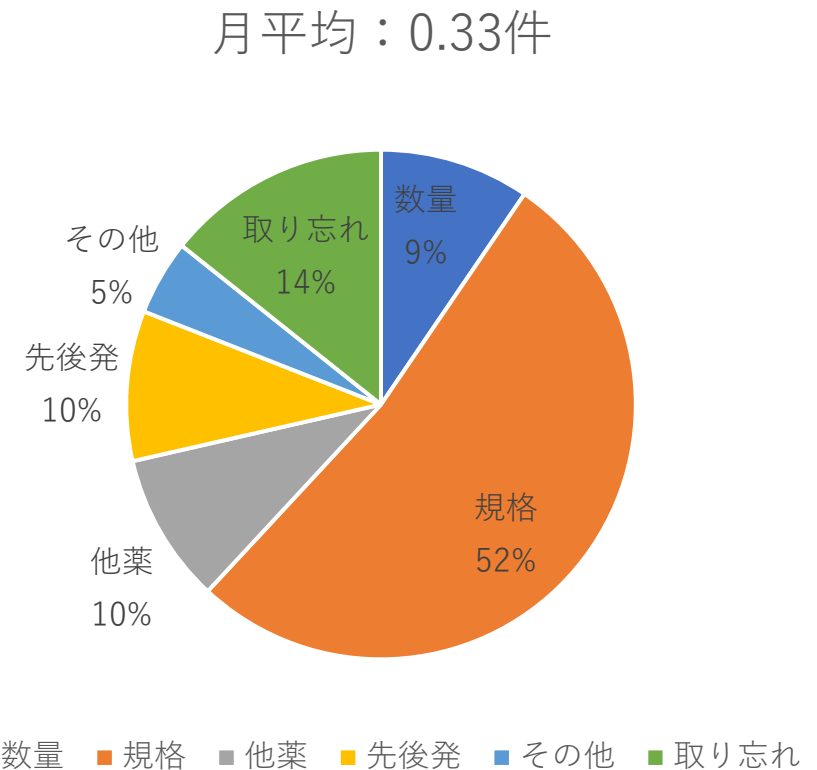
湿布

ヒヤリハット



規格間違いの割合が高い

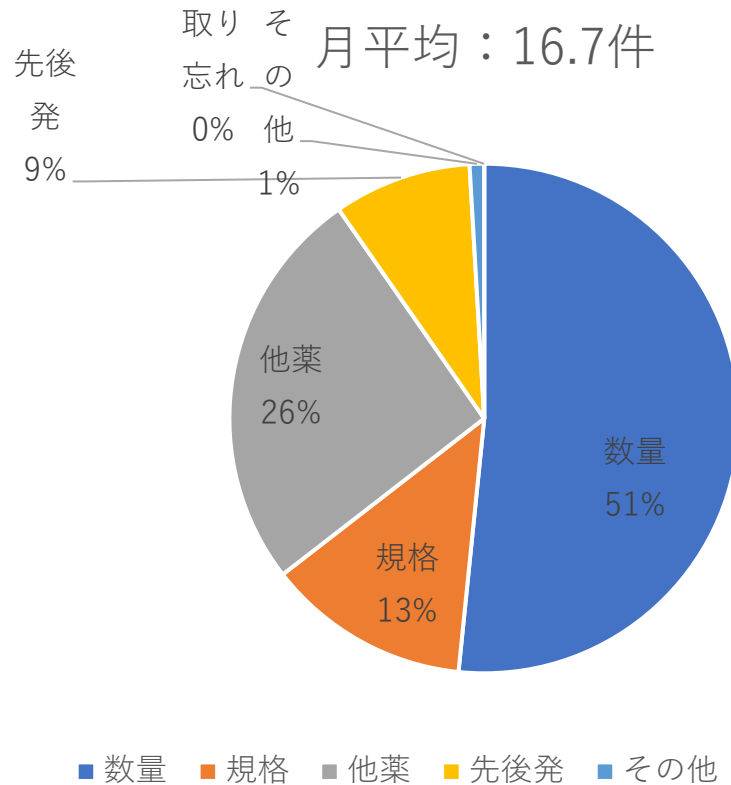
調剤過誤



規格間違い、取り忘れが非常に見過ごされやすい

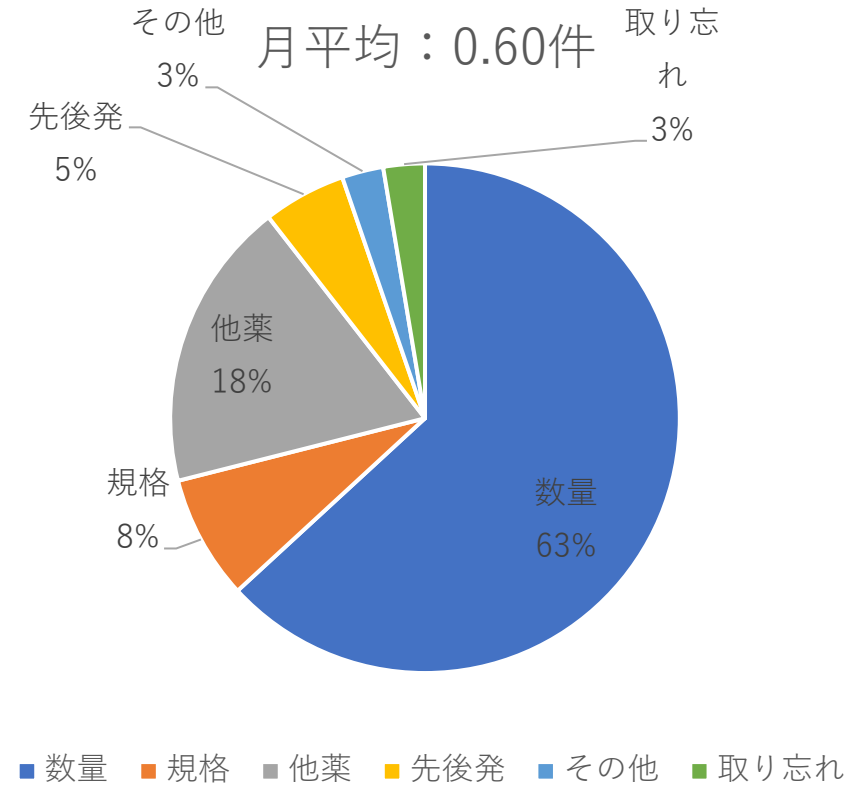
散剤・液剤

ヒヤリハット



数量間違い、他薬の割合が高い

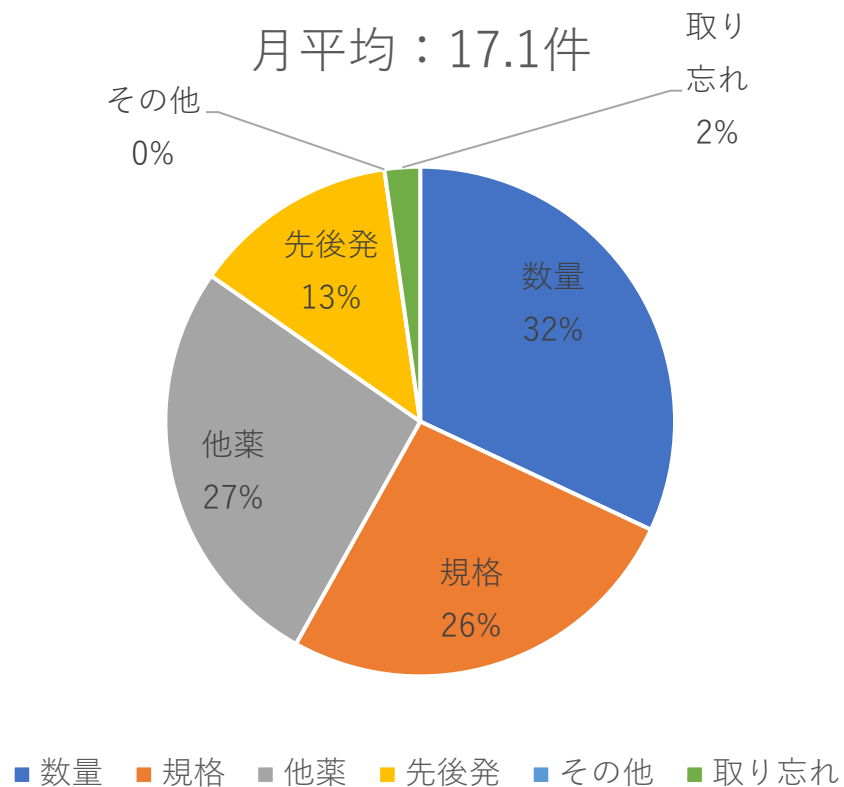
調剤過誤



数量間違いが見過ごされやすい

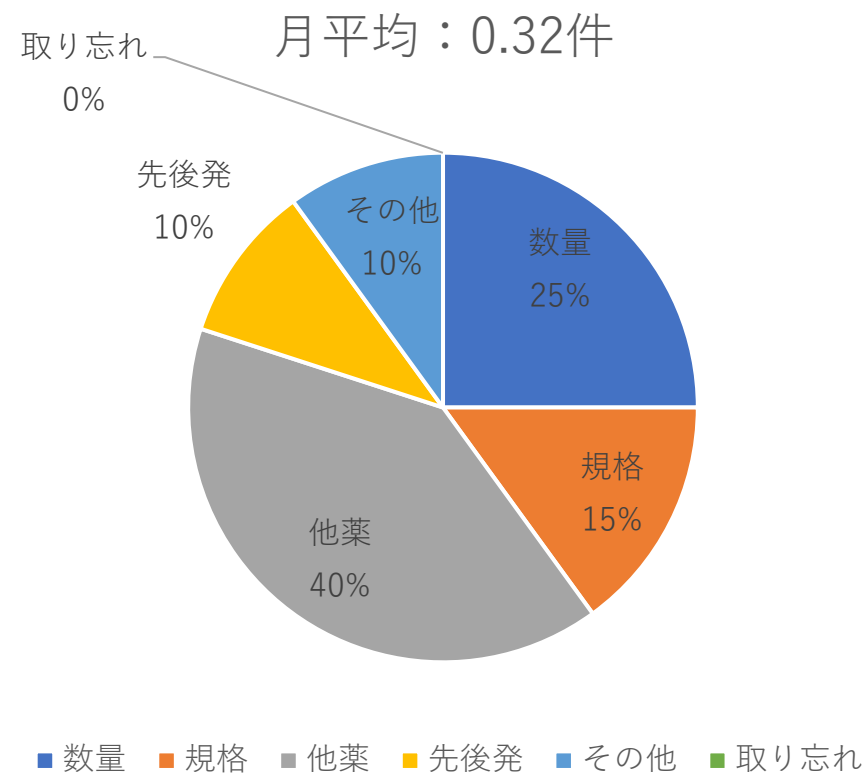
軟膏

ヒヤリハット



他薬の割合が高い

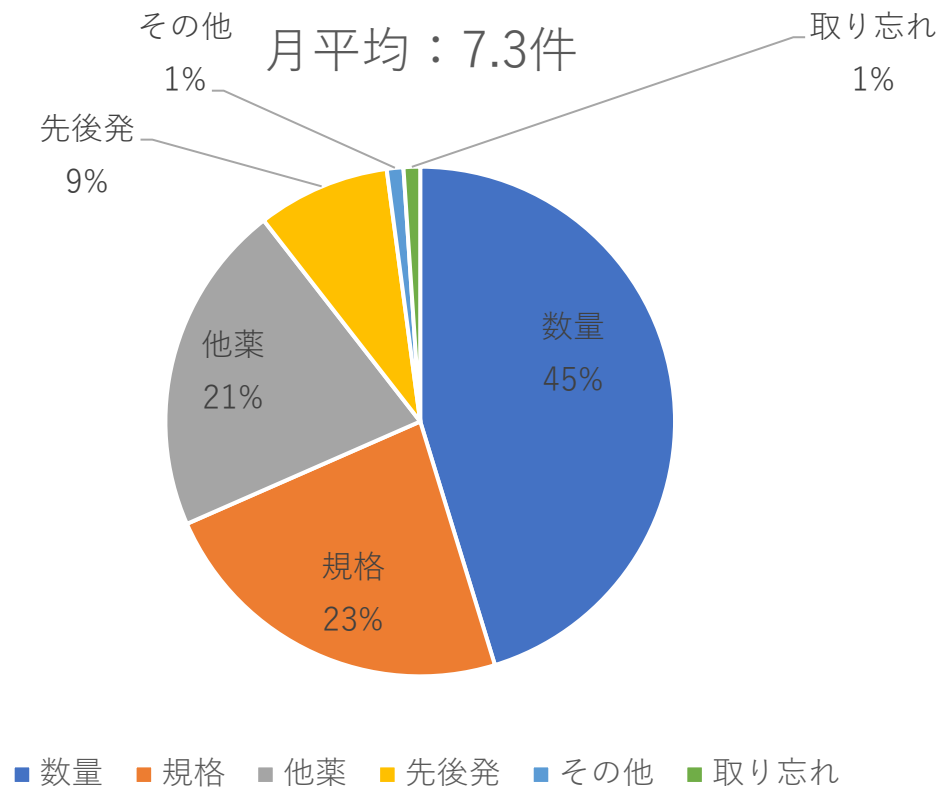
調剤過誤



他薬が非常に見過ごされやすい

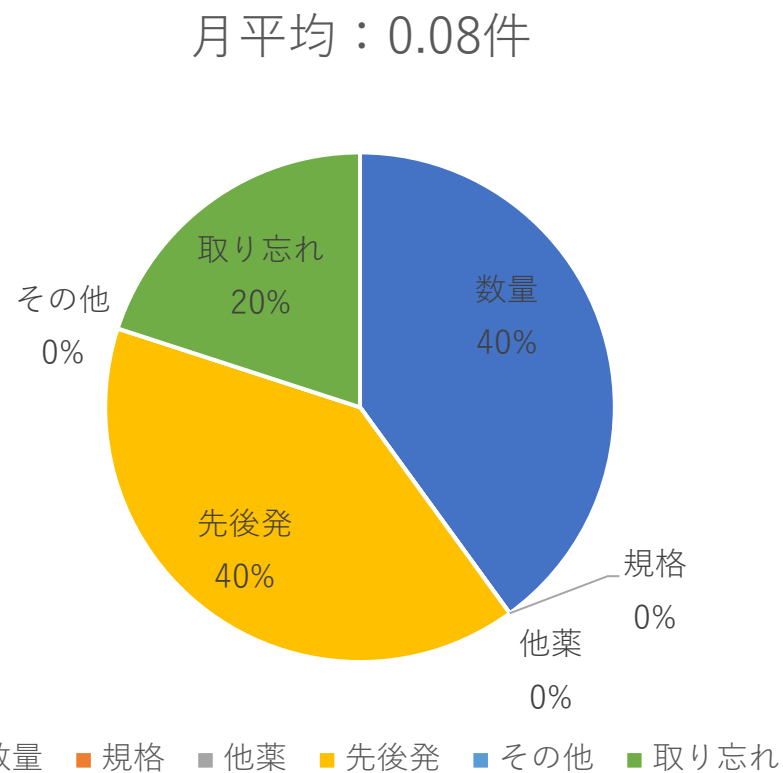
点眼・点鼻

ヒヤリハット



数量間違いの割合が高い

調剤過誤



数量間違い、先発・後発間違いが
見過ごされやすい

【方法②】

ヒヤリハット、及び調剤過誤の内訳に特徴的な傾向が見られた剤型について、その特徴に標的を絞った注意喚起を2019年9月より開始した。2020年2月までのヒヤリハット（1872件）を再度剤型別に集計し、その内訳に変化があったかを分析した。また、注意喚起の前後で調剤過誤件数、及びヒヤリハット件数に対する調剤過誤件数の割合に変化があったかを分析した。

【揭示による注意喚起】

湿布： 規格注意！！！！

軟膏： 名称注意！！！！

粉・液剤： 数量・日数・用法注意！！！！

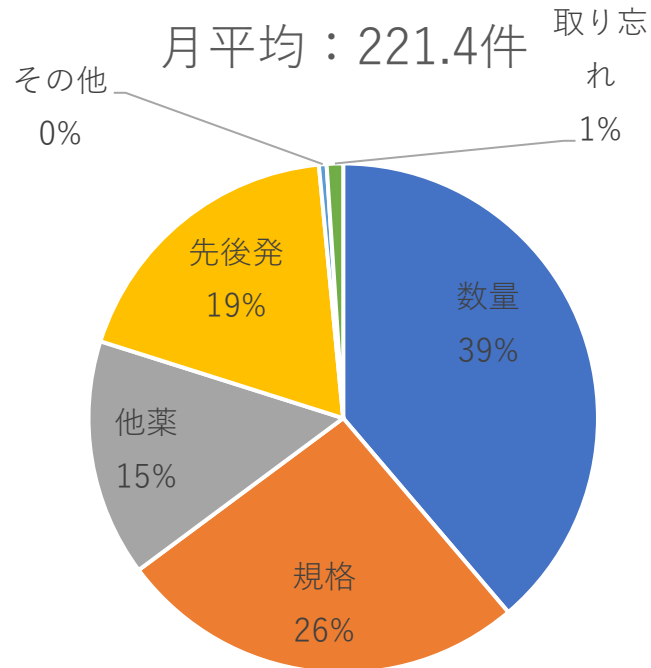
点眼点鼻： 数量注意！！！！

錠剤： 規格・名称・数量注意！！！！

全剤型

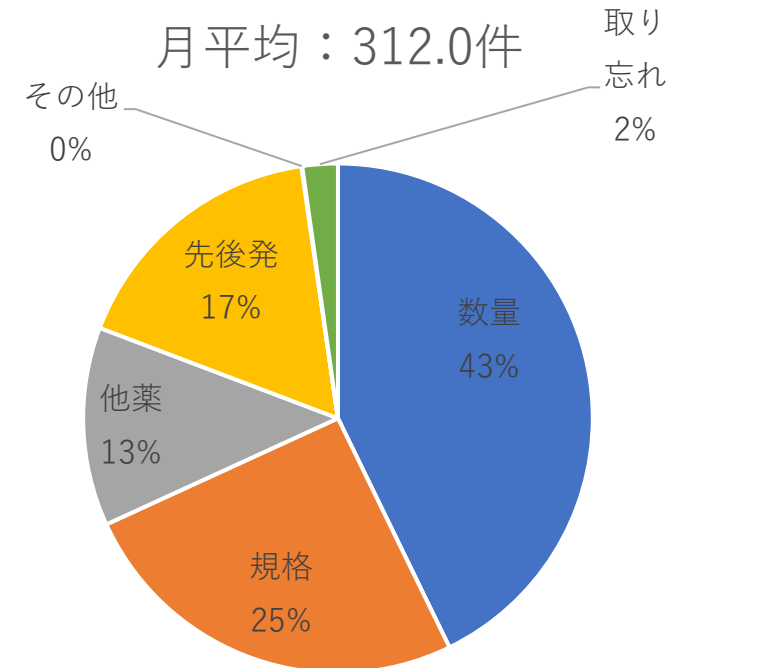
(錠剤、湿布、散剤・液剤、軟膏、点眼・点鼻、吸入、一包化)

2018.8～2019.8



■ 数量 ■ 規格 ■ 他薬 ■ 先後発 ■ その他 ■ 取り忘れ

2019.9～2020.2

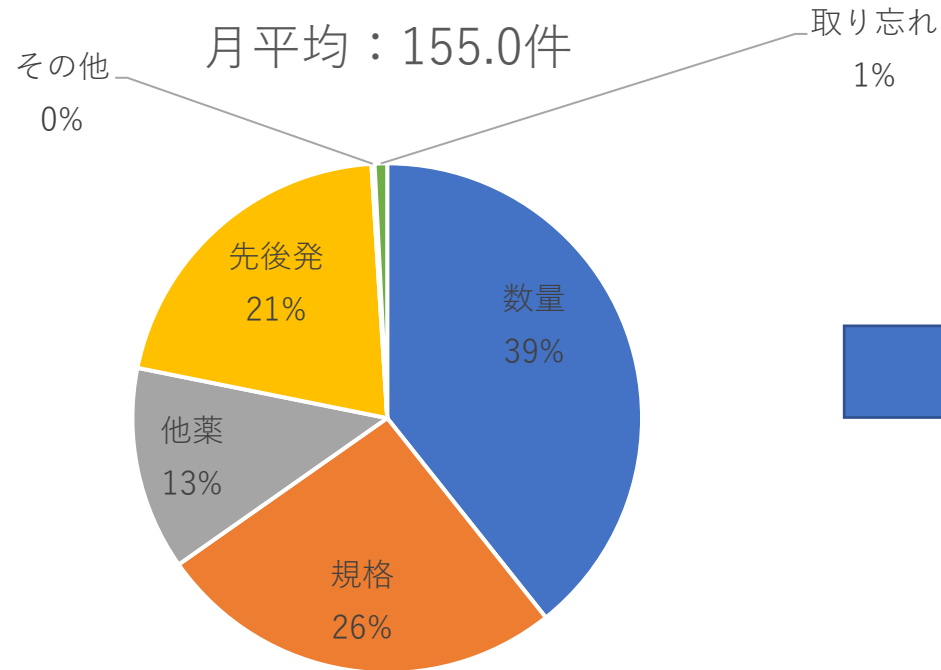


■ 数量 ■ 規格 ■ 他薬 ■ 先後発 ■ その他 ■ 取り忘れ

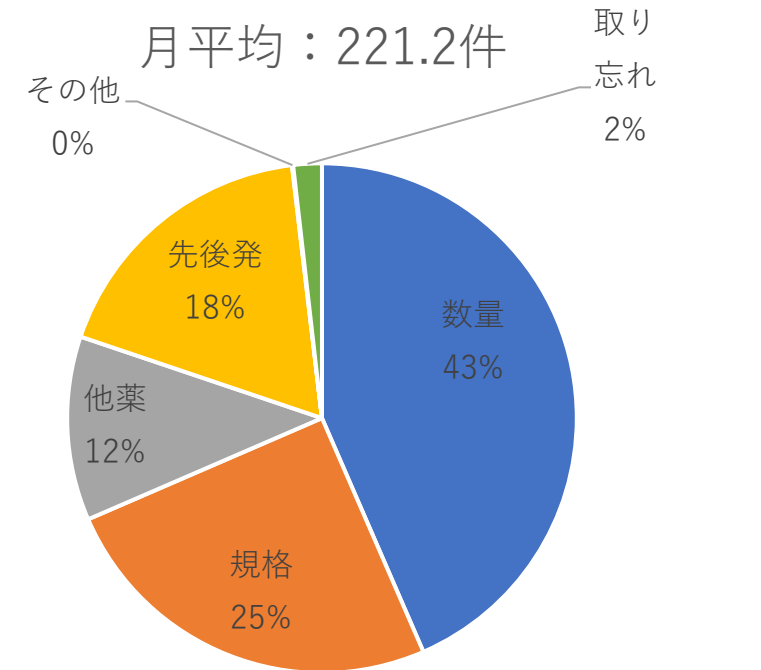
数量間違いの割合は少し増加し、
他薬、先発後発間違いの割合は僅かに減少した

錠剤

2018.8～2019.8



2019.9～2020.2



■ 数量 ■ 規格 ■ 他薬 ■ 先後発 ■ その他 ■ 取り忘れ

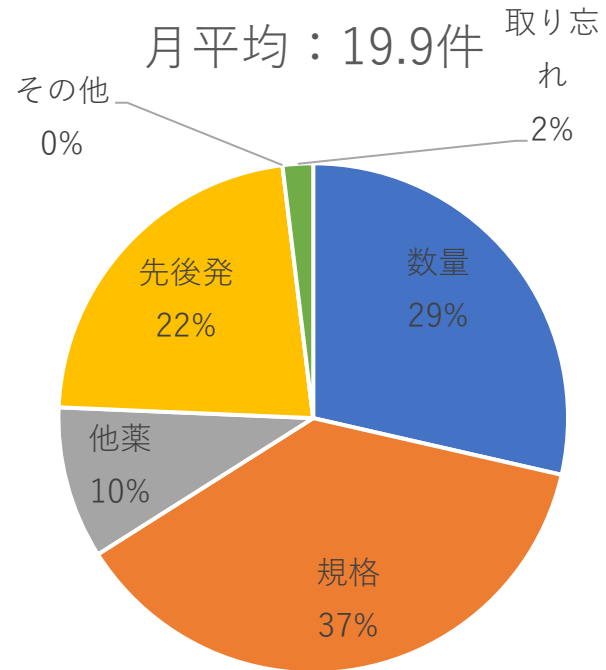
■ 数量 ■ 規格 ■ 他薬 ■ 先後発 ■ その他 ■ 取り忘れ

全剤型と同様に数量間違いの割合は少し増加し、
先発後発間違いの割合は少し減少した

湿布

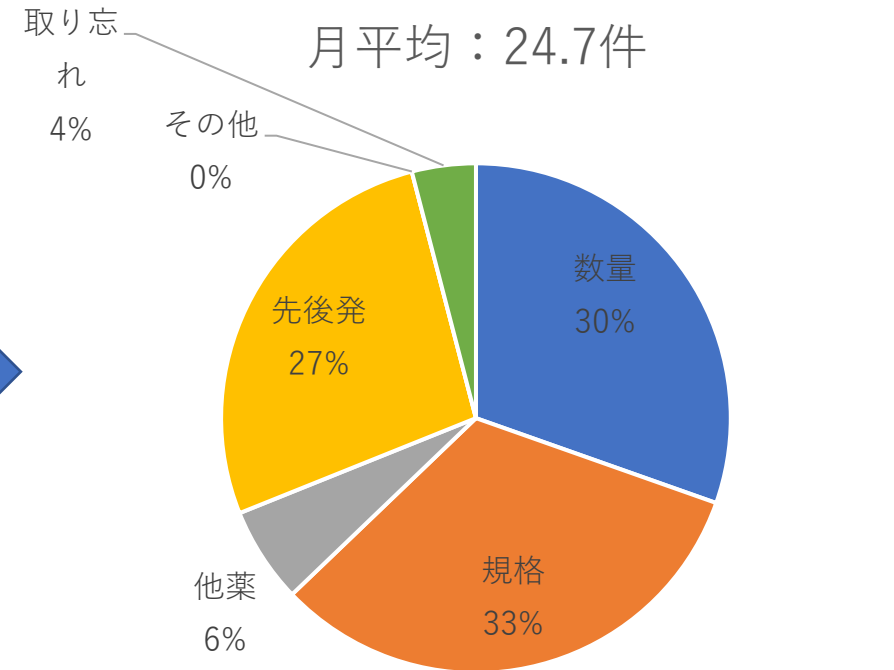
注意喚起あり

2018.8～2019.8



■ 数量 ■ 規格 ■ 他薬 ■ 先後発 ■ その他 ■ 取り忘れ

2019.9～2020.2



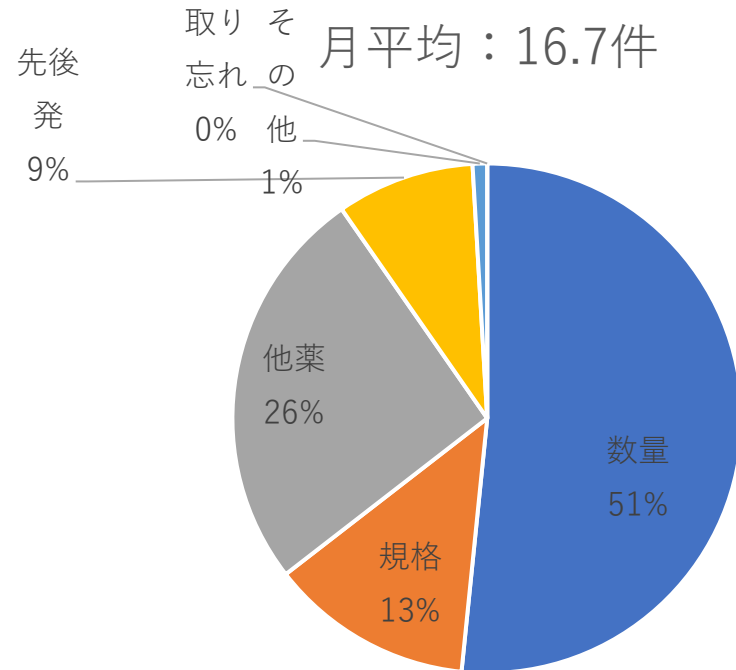
■ 数量 ■ 規格 ■ 他薬 ■ 先後発 ■ その他 ■ 取り忘れ

注意喚起前と比較し**規格間違いの割合は少し減少**した

散剤・液剤

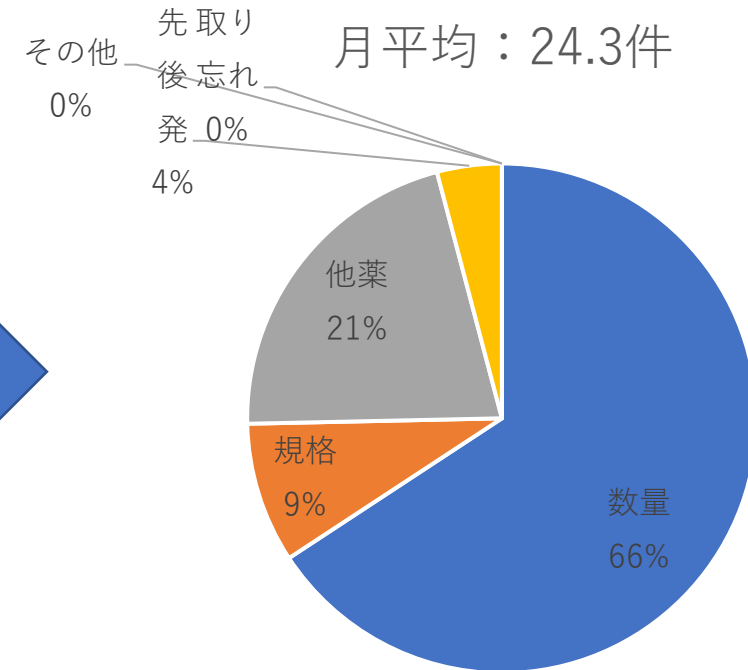
注意喚起あり

2018.8～2019.8



■ 数量 ■ 規格 ■ 他薬 ■ 先後発 ■ その他 ■ 取り忘れ

2019.9～2020.2



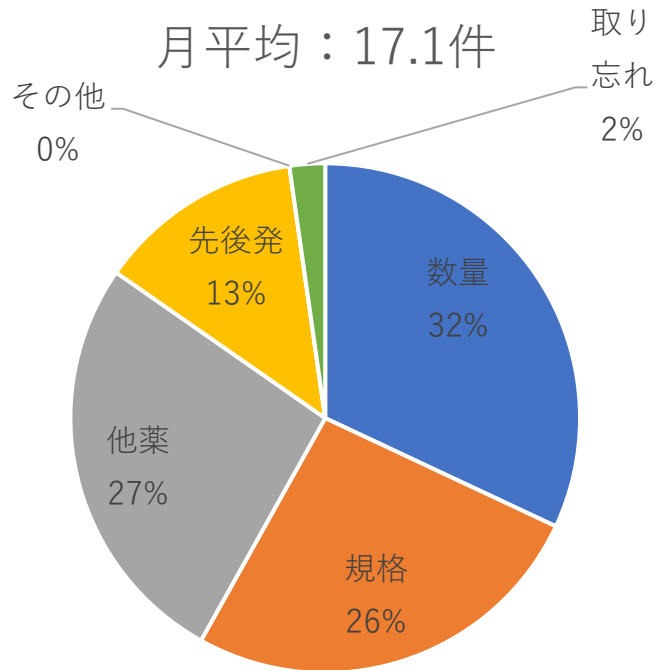
■ 数量 ■ 規格 ■ 他薬 ■ 先後発 ■ その他 ■ 取り忘れ

注意喚起前と比較し**数量間違いの割合は増加した**

軟膏

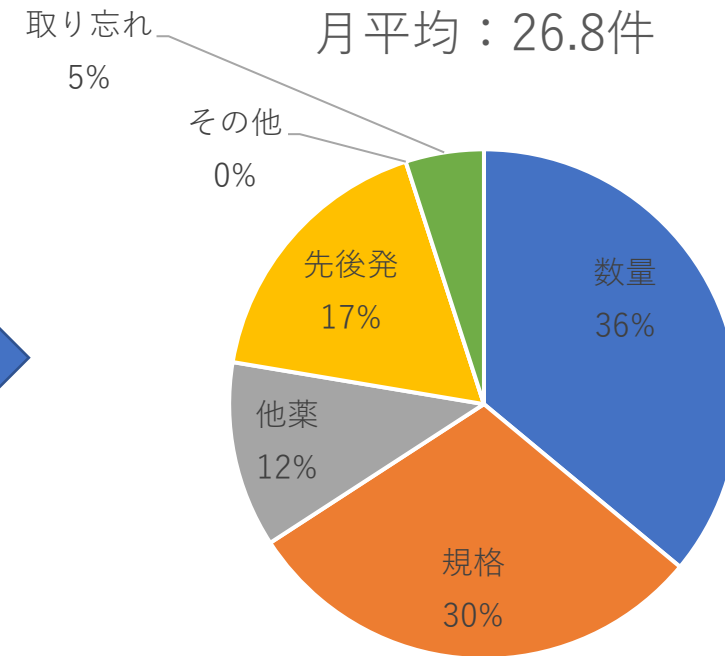
注意喚起あり

2018.8～2019.8



■ 数量 ■ 規格 ■ 他薬 ■ 先後発 ■ その他 ■ 取り忘れ

2019.9～2020.2



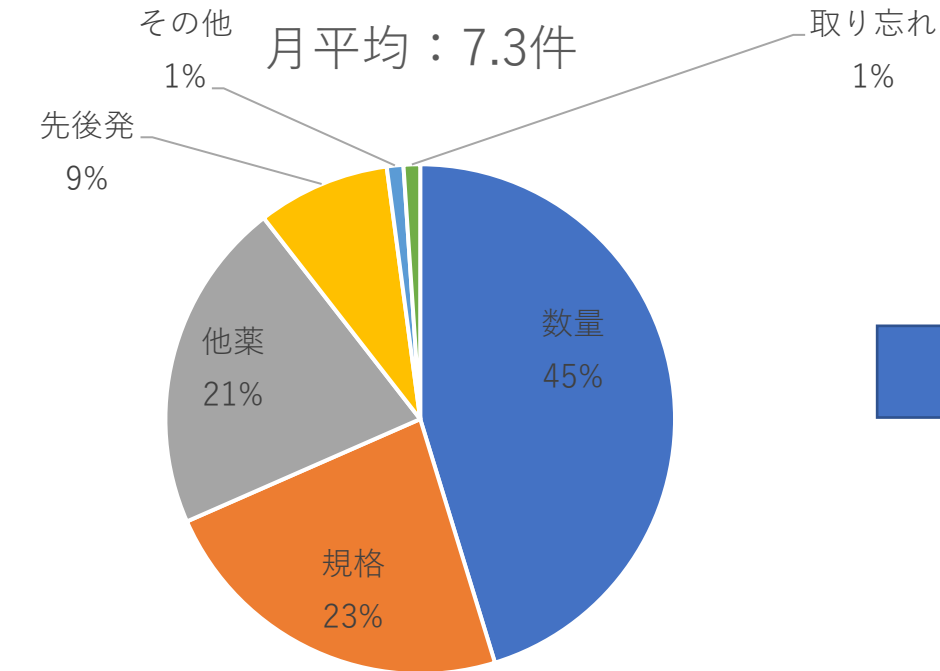
■ 数量 ■ 規格 ■ 他薬 ■ 先後発 ■ その他 ■ 取り忘れ

注意喚起前と比較し他薬の割合は減少した

点眼・点鼻

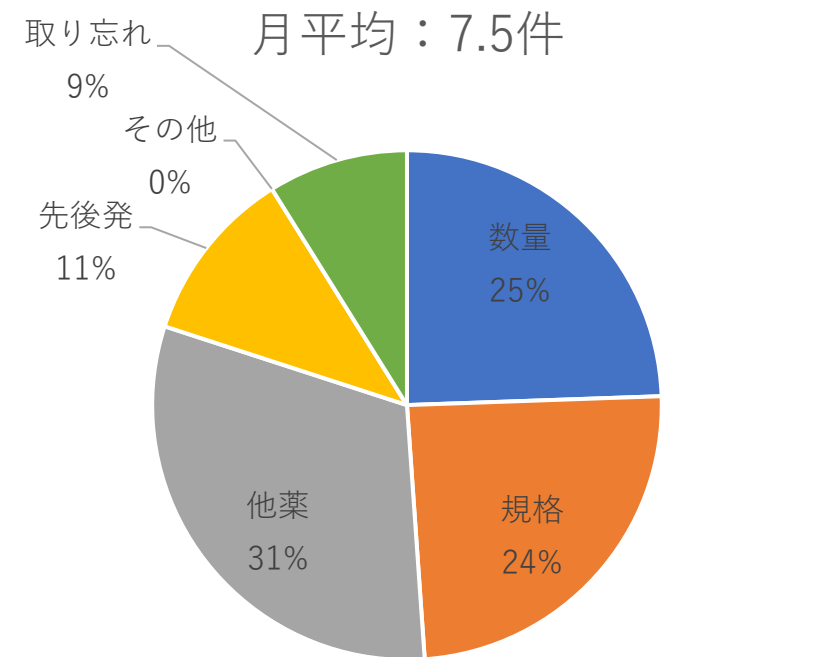
注意喚起あり

2018.8～2019.8



■ 数量 ■ 規格 ■ 他薬 ■ 先後発 ■ その他 ■ 取り忘れ

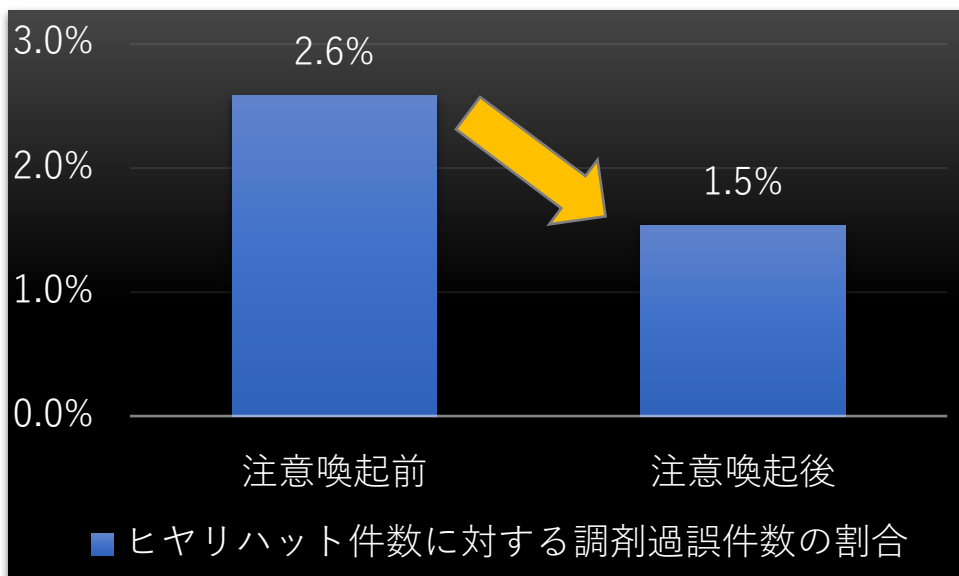
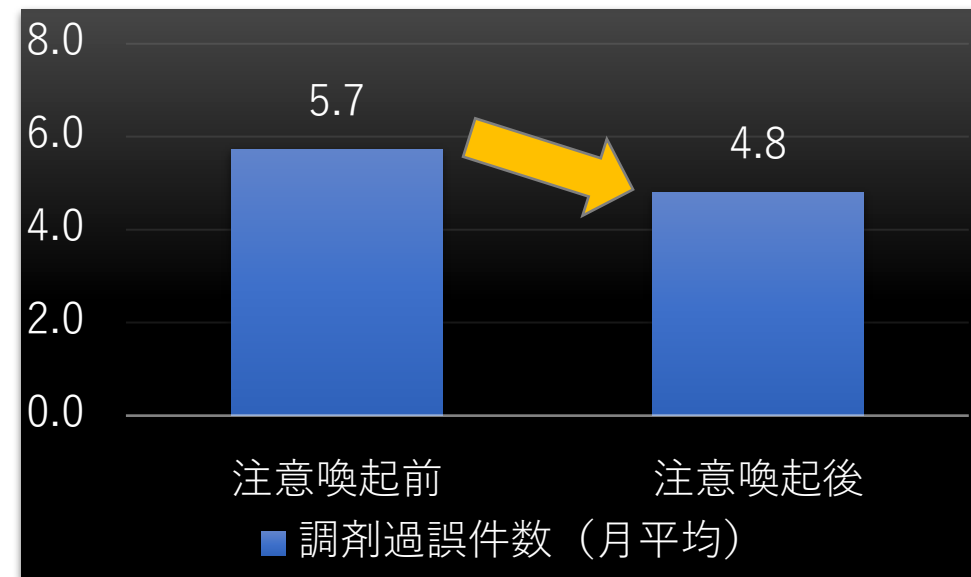
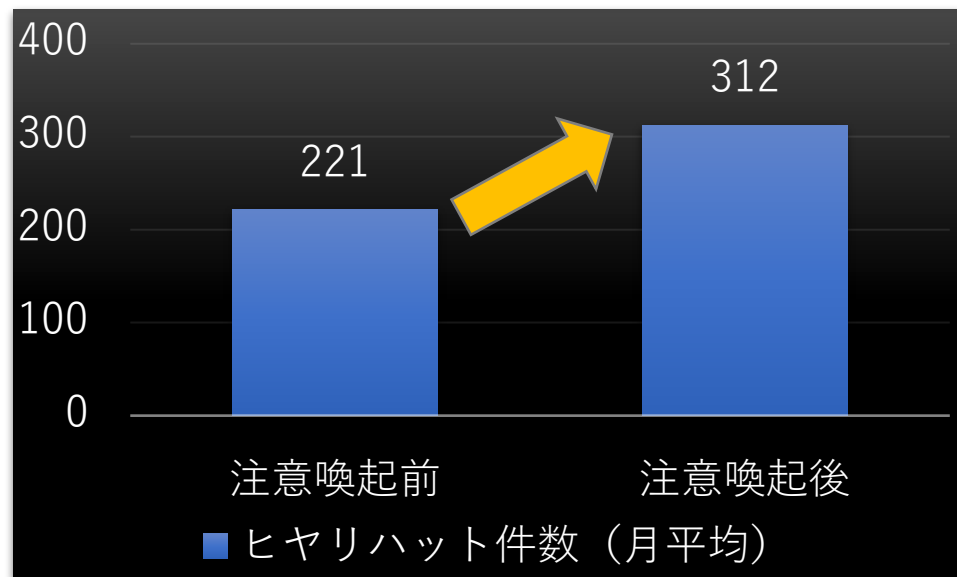
2019.9～2020.2



■ 数量 ■ 規格 ■ 他薬 ■ 先後発 ■ その他 ■ 取り忘れ

注意喚起前と比較し数量間違いの割合は減少した

【結果】



注意喚起後、ヒヤリハットの報告件数は増加したが、**調剤過誤件数は減少**した。また、**ヒヤリハット件数に対する調剤過誤件数の割合は大幅に減少**した。

※注意喚起後の調剤過誤の集計期間は2019年9月～2020年1月

【考察】

ヒヤリハットの報告件数が増加した理由として、注意喚起によってヒヤリハットに対する意識が高まり、各店舗でこれまで見過ごされていたヒヤリハットが報告されるようになったことが考えられる。

ヒヤリハット、及び調剤過誤の特徴に標的を絞った注意喚起によって一定の効果が認められたが、時間が経過するとマンネリ化して効果が薄れてしまうことが予想される。全店舗統一の方法ではなく、各店舗の状況に合わせて掲示の方法を工夫したり、注意喚起の内容を随時更新したりすることによって、継続的にヒヤリハット件数、及び調剤過誤件数の減少が期待出来るものと考えられる。

第54回日本薬剤師会学術大会 利益相反の開示

演者名： 中村安宏

私は今回の演題に関連して、
開示すべき利益相反はありません。